選手と一緒に記念撮影

愛媛ＦＣマッチタウンデー ジェフユナイテッド千葉と引き分け

サッカーＪ２リーグに参戦する愛媛ＦＣのホームゲームが９月30 日、ニンジニアスタジアムで開かれ、ジェフユナイテッド千葉と対戦しました。当日は内子町のマッチタウンデーで、町内のスポーツ少年団に所属する小学生がエスコートキッズとして選手と一緒に入場。小田の郷せせらぎ、オーベルジュ内子からは、選手に記念品を贈りました。なお試合は２対２の引き分けに終わりました。

親子でなわとびのくぐり抜けに挑戦

体を使った遊びの機会を増やそう 小田地区で「なかよしひろば」開催

親子や保護者同士の交流を深めようと、小田幼稚園と参川幼稚園が毎年、合同で開いている「なかよし広場」が10月５日、城の台公園体育館で行われました。

近年は幼児期に体を動かす遊びの経験が少なく、体力や運動能力の低下がみられることから、糸岡夕里（ゆり）愛媛大学教育学部講師の指導で、「親子で楽しむ運動遊び」をテーマに、さまざまな運動遊びを体験しました。

園児一人一人に絵本を手渡す

心の豊かな子に育って ソロプチミスト大洲から絵本寄贈

国際ソロプチミスト大洲（村上玲子（れいこ）会長）から10 月９日、内子保育園と五城保育園に絵本が贈られました。

同団体は人権と女性の権利を高める奉仕活動を推進しており、毎年、読書週間にあわせて大洲市・喜多郡の保育園に絵本を寄贈しています。内子保育園の浦上恵津子（えつこ）園長は、「保育園には絵本が少ないので、大変ありがたいです。大切にしていきたいと思います」と話していました。

到着後、足湯で疲れを癒しながら高校生と談笑

世界のサイクリストが内子へ 「コグウェイ四国」歓迎交流会

「自転車は世界をつなぐ」を合言葉に自転車で四国を旅する催し「コグウェイ四国」（同実行委員会主催）が開かれ、台湾・アメリカ・中国などから約50人が参加しました。一行は９月30日～ 10月10日にかけて四国を一周。９日の午後５時ごろ内子町に到着し、内子自治センターで歓迎交流会が開かれました。会には内子高校の生徒もボランティアとして参加し、交流を楽しみました。

英語で思いを発信 内子町中学校英語弁論大会

第11回大会は９月27日、内子座で開かれ、町内４つの中学校から11人が出場しました。出場者は「東日本大震災」「内子」など７つのテーマから１つを選び、英語で力強く意見を発表しました。上位入賞者は次のとおりです。

１位	″Uchiko, my hometown″	大江はるなさん（大瀬中）
２位	″My great- grandfather″	大澤　美咲さん（内子中）
３位	″The Aging Society″	矢野　誌歩さん（五十崎中）

１位に輝いた大江はるなさん

台風ノ接近ニモ負ケズ 立石地区、町並保存地区で観月会

９月30日の中秋の名月にあわせて町内で恒例の観月会が開かれました。台風の接近によりあいにくの空模様となりましたが、雨の間を縫うようにさまざまな催しが行われました。

立石地区では29日、「第６回尾首の池 月を愛（め）でる会」（立石愛鱗会（あいりんかい）主催、山内毅（たけし）会長）が開かれ、約150人が参加。美しくライトアップされた池のほとりで、地元食材を使った手作りの「お月見御膳（ごぜん）」や温かい芋炊きなどを味わいました。山内会長は、「６回目にして初めての雨。この日のために準備してきたことを十分に実施できず残念だが、それでも多くの人が来てくれてうれしい。無事にできて良かった」と話していました。

「八日市町並観月会」（八日市護国地区町並保存会主催、丸山昇（のぼる）会長）は29・30の両日、伝統的建造物群保存地区で開催。２日間で約1,000人が訪れ、思い思いに行灯の明かりに照らされた町並みのそぞろ歩きを楽しんでいました。

両日は会場内の車両の通行が規制され、各所で琴や尺八などの和楽器の演奏会、手しごと作品の展示会などを実施。また30日には「はぜとり踊り」も披露され、多くの人が足を止めていました。

1_池のほとりには13基の茅ぐろを配置　2_手作り料理を楽しみながら歓談のひととき　3_特設ステージでは木管楽器のアンサンブルやギターの生演奏も　4_台風通過後の30日には時折、満月が姿を見せることも　5_町並みに響く琴の音色も楽しんで　6_木蝋の原料であるハゼの実の収穫の苦労を表現した「はぜとり踊り」